

令和7年度尾張旭市介護保険特別会計予算

討論要旨 榊原利宏議員

来年度は、基準月額保険料を500円引上げし、5,490円となって2年目となります。県内では、低いほうから数えて12番目から14番目に後退をしております。これも重い負担であることに変わりはなく、引下げを求めるところです。

4チーム目の地域包括支援センターができるのは、よいことであります。1,650万9,000円の予算が計上されております。こうしたサービスの向上を素直に喜ばないところがあります。サービスと給付のジレンマであります。サービスが増加すると保険料が上がる。保険料を下げたければサービスを下げると、こういうものです。国庫負担を増やし、負担と給付のジレンマから脱却し、社会保障としての介護保険制度を確立する必要があります。

訪問介護事業所の4割が赤字の中、昨年、介護報酬が引き下げられました。訪問介護事業所がゼロになることを避けるために、事業所に直接支援する自治体も出てきました。東京都区部でも訪問介護事業所の撤退が報じられております。本市の状況がどうなっているのか、ぜひとも状況を細かく把握していきたいと思っております。

以上で反対討論といたします。